

仲間とともに

佐藤 明

昨年、名寄野鳥の会が、名寄市のバードテーブル調査を実施した。人口三万の街の郊外（農村部）を除いた市街地に二一カ所、三年前の調査では二二〇カ所であったから大幅に増加したことになる。これは専業農家を除いた個人の住宅数五、四九五戸の設置率は三七四％である。この数字の多い少ないの結果はこの種の調査の記録及び資料が無いので比較出来ませんが、近年の自然志向及び野鳥に関心を持つ市民が増えてきた証しと信じます。この調査は自然観察指導員七名で徒歩により二ヶ月かかりました。

ある日、いつもの仲間と居酒屋での会合である。

名寄の「自然マップ」を作ろう。と我が会の一番の若手（二四才男）が言い出した。いいな俺もやってみたい！俺も！俺も！製作費用は？取りあえず準備をすすめよう、個々の資料を出しあえばできるさ。と言うことで話は決まり、言い出した一番の若手が編集委員長に現在準備中であるが、編集長は原稿が集まらないと嘆いている。（三

月発行予定）

なお製作費用は名寄市内の自然関係団体で組織する「名寄自然に親しむ会」と名寄市から頂くことになった。

当然、編集スタッフは道北自然観察指導員会のメンバーである。

道北自然観察指導員会とは、一九九一年・名寄市で開催された自然観察指導員講習会で名寄近郊で指導員に選ばれた人と以前からの指導員合わせて三名で発足しました。

会報「フィールド」は年四回程度発行、会費は市からの事業助成金と寄付金が有り現在徴収していない。

事務局は、同じ職場で二名の会員がいる私の所が矢面になり、どうせやるなら喜んでやろうと意気込んだものの、会報が送れ気味。（本当は、会報より電話連絡の方が手取り早いから）

とにかく何か事業をしなくては、指導員として、自信が無いから研修会をして欲しいと言う声が多く、第一回は近郊にある北海道大学雨竜地方演習林で、時期的に寒い二月に、日本で一番寒い幌加内町母子里の丸太小屋の学生宿舎で先生を巻き込んだ宿泊研修を行なった。

冬芽の観察から始まり、夜は天体望遠鏡での天体観測、周囲に街路灯が無いため、夜空いっばいに広がる星空ウォッチングを楽しみました。

二日目は、雪の結晶の標本作りと、

歩くスキーを駆使した林内散策を楽しみ、参加者一六名は、自炊を兼ねた研修を満喫しました。

昨年、十月にエコ・ネットワークの小川氏を講師に宿泊研修を実施し、観察会の指導方法を体得しました。

今年から実際に指導員会として活動しようと、小中学生を対象に毎月第二土曜日に「小さな自然観察クラブ」を開催しています。

毎回二〇名前後の参加があり、子供達と楽しんでいきます。

しかしながら、観察会を計画して、会報等でお手伝方参加を呼びかけていますが、いつも同じメンバーで行なわれていることが多いように思われます。この傾向は各地に見られると聞きます。当会に限らず、サークル活動においてこの傾向にあるのではないのでしょうか。

当然、職場等の違いで参加したくても出来ない事情を考慮し、いつからでも気軽に参加出来るよう会報等は定期に発行しなければと反省しています。

いずれにしても、自然観察指導員講習会での意気込みを持続し、身近かな所から自然と付き合おう楽しさを分かち合うことと、同じ志を持つ仲間が何よりも励みになると感じています。

と言う私も、「自然保護」とは、専門学識者の分野だと思っていました。野鳥のことで知り合った友人から自然



水辺の観察会風景

観察指導員の受講を進められ、現在に至っています。

この友人を通して次々に仲間ができ休日の殆どが観察会か山登りを楽しんでいます。

旭川アイヌ協議会伝承部長のS氏もその一人です。

樹木は何処に何が生えている、又その樹木の利用及び知識はごく自然であり、又、日常的でもある。

山菜取りにしてもしかり、オオウバユリの掘り採り時期、ヒシの実採りの時期、及び加工方法、保存方法を熟知している。また、その行為の前にはかならずイナウ（木幣）を作りカムイノミ（神への祈り）をする。全ての植物

を神からの恵とし利用方等を伝承し決して種を絶やさような採り方はしない。

私の子供の頃、山があり川があり、その山川が遊び場であり、親も川は危険だから行くなとも言わなかったし、そこには自然の遊びがあっただけで、決して自然観察をしたわけではない。

最後になりますが、趣味として、又遊びとして自然を満喫するため、我々はもう一度考えなおしたい。肩ひじを張らず大らかに、マナーを教えるのではなく自らが実践する。知識を知ってもらいたいけど我慢し自己満足に浸る。

これをしたら駄目、あれは駄目ではなく、どうして駄目なのかを気付かせ運動を、一人より二人、多くの人達と仲間で先人達が残した自然の贈り物を後世に残したいものです。

この稿がでる頃、この地方も粉雪から堅雪になり夏では行けない山奥まで、仲間とともに山スキーで兔を追い、小鳥の接近に逢い、汗ばんだ体に熱い、コーヒー、帰りはテレマークでシユプールと最高の贅沢を満喫していることとと思う。

（自然観察指導員 名寄市在住）